

電気工学科

北川 二郎教授

マツダ財団 研究助成に採択 学内にて助成金贈呈式を開催

この度、工学部電気工学科・北川二郎教授が公益財団法人マツダ財団（広島県安芸郡府中町、以下「マツダ財団」）の科学技術振興を目的とした研究助成に採択され、10月13日（金）、学内にて助成金の贈呈式を開催しました。

今回の公募では、全体の応募件数が404件と多く、競争率約13倍の狭き門でしたが、研究内容が高く評価されました。

北川教授が採択された研究テーマは「電気二重層トランジスタを利用した光誘起近藤効果の普遍性の研究」であり、光によって磁気の状態が変化する近藤効果と呼ばれる特殊な現象の深い解明を行い、新しい原理による光制御デバイスの創出を目指すものです。

マツダ財団は科学技術振興や青少年の健全育成活動を主な事業内容として1984年に設立され、科学技術関係の研究助成制度の実施は本年で第33回目となります。

贈呈式にはマツダ財団事務局長代理の六鹿彰吾様臨席の下、関連する教職員に加えて、北川研究室所属の学生も多く出席し、和やかな雰囲気の中、新しい研究の良いスタートとなりました。

今後の研究の進展にご期待ください。

（総合研究機構 大野）



この件のお問い合わせは広報課へ

掲示期間 H-29-187
 10月24日～11月13日